

【取組内容】



- バングラデシュのシングルマザーが**継続的に収入を得られる仕組み作りを確立**。さらに、本来廃棄されるはずの牛革を使用することでエシカル消費を推進するレザーブランドのラファエロ(Raffaello)を設立。
- **バングラデシュと日本でシングルマザーや障害者等と業務提携**し、ダイバーシティとインクルージョン並びに**子どもたちが教育を受けられる環境づくり**を実現。
- 製品の購入をきっかけとしたエシカル消費を推進し、ビジネスを通じて消費者の行動変容を促している。

【評価のポイント】

普遍性	ジェンダー格差の大きい2カ国でジェンダー平等の実現を通じて子どもたちへの教育機会の提供を目指す本取組は、国際的なロールモデルとなり得る。
包摂性	女性や障害者に対して就労機会を提供することで、ダイバーシティ及びインクルージョンを実現。
参画型	女性と障害者の労働参画に加え、子どもの貧困削減に向けてNGOと協同し、また幅広い属性の顧客層へアプローチしエシカル消費を推進。
統合性	社会（ジェンダー平等）、経済（廃棄予定の牛革の有効活用）、環境（再生可能エネルギーの活用）の三側面を含んでいる。
透明性と説明責任	事業内容及び寄付活動をHP公開するとともに、小冊子でも紹介。第三者機関による評価の実施も行う。
変革性	シングルマザーの雇用推進は、子どもたちの将来の可能性を広げる取組であり、それらの情報を発信することで消費行動の変革を促している。
連帯性と行動変容	良品を提供することで、ビジネスを通じて社会課題の認知向上を図り、行動変容へと繋げている。

